



## 2021年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2021年4月28日

上場会社名 株式会社 エスティック  
 コード番号 6161 URL <http://www.estic.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鈴木 弘英

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理部長 (氏名) 伊勢嶋 勇

TEL 06-6993-8855

定時株主総会開催予定日 2021年6月17日

配当支払開始予定日

2021年6月18日

有価証券報告書提出予定日 2021年6月17日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期の連結業績(2020年3月21日～2021年3月20日)

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	5,294	21.8	1,055	40.4	1,072	38.8	729	38.9
2020年3月期	6,773	2.4	1,772	2.2	1,754	0.6	1,193	5.1

(注) 包括利益 2021年3月期 742百万円 (38.5%) 2020年3月期 1,207百万円 (8.9%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年3月期	294.34		11.7	14.7	19.9
2020年3月期	460.78		19.5	23.8	26.2

(参考) 持分法投資損益 2021年3月期 5百万円 2020年3月期 4百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	7,491	6,526	86.4	2,609.75
2020年3月期	7,145	6,025	83.7	2,411.45

(参考) 自己資本 2021年3月期 6,469百万円 2020年3月期 5,977百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年3月期	981	9	243	1,210
2020年3月期	1,156	583	1,499	504

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年3月期		0.00		97.00	97.00	240	21.1	4.1
2021年3月期		0.00		61.00	61.00	151	20.7	2.4
2022年3月期(予想)		0.00		64.00	64.00		20.8	

### 3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年3月21日～2022年3月20日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,886	12.6	471	3.9	479	7.6	331	12.0	133.52
通期	5,969	12.7	1,085	2.8	1,097	2.3	762	4.4	307.39

注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
 新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
 以外の会計方針の変更 : 無  
 会計上の見積りの変更 : 無  
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期	2,942,000 株	2020年3月期	2,942,000 株
期末自己株式数	2021年3月期	463,089 株	2020年3月期	463,019 株
期中平均株式数	2021年3月期	2,478,961 株	2020年3月期	2,589,782 株

(参考)個別業績の概要

2021年3月期の個別業績(2020年3月21日～2021年3月20日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	4,873	24.7	968	44.1	993	42.2	683	42.2
2020年3月期	6,473	2.4	1,733	3.4	1,717	1.7	1,181	6.5

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期	275.59	
2020年3月期	456.09	

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
2021年3月期	6,950		6,089		87.6		2,456.64	
2020年3月期	6,704		5,632		84.0		2,271.97	

(参考) 自己資本 2021年3月期 6,089百万円 2020年3月期 5,632百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、決算短信(添付資料)4ページ「1. 経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

当社は、2021年5月11日にアナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。当日使用する決算説明会資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	4
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当 .....	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	4
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 連結貸借対照表 .....	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	7
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	12
(継続企業の前提に関する注記) .....	12
(追加情報) .....	12
(セグメント情報等) .....	12
(1株当たり情報) .....	12
(重要な後発事象) .....	12

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における世界経済は年度を通し新型コロナウイルス感染症の影響一色であったといっても過言ではない1年でありました。世界経済成長率は4%以上のマイナス成長となり、一部業種における失業者の増大、所得格差の拡大、経済不況下における株高など、様々な分野で経済環境の二極化が進展してまいりました。

他方、一部地域では早期の新型コロナウイルス感染症拡大の封じ込めや、ワクチン接種の広がりなどによる経済活動の回復を示している国もあり、国や地域によっても格差が生じている状況となっております。

このような経済環境のなか、当社主力販売先である自動車産業界における設備投資の状況や当社製品の品種別の販売状況につきましては市場別に次のとおりとなっております。

#### ① 国内市場

日本経済は、新型コロナウイルス感染症の第3波の拡大後もなかなか収束の兆しも見えず、依然として経済活動の本格的再開が見えない状況下ではありますが、ウィズコロナによる施策も広がりを見せ経済活動も徐々に回復の実態が見えつつある状況となりました。

そのような状況のなか、当社主力販売先である自動車産業における設備投資の状況につきましては、未だ一部の顧客において訪問制限、接触制限が継続されており、顧客とのコンタクトが完全に回復したとは言えない状況が継続しており、大型設備案件においては計画の先送りや見直し途上の客先が多く、未だ市場環境は先行不透明な状況にあります。

その結果当連結会計年度における売上高は、ハンドナットランナやナットランナは下期より回復傾向を示してまいりましたが、ネジ締付装置の回復は遅く、通期においては全品種で前年を大きく下回る減収となりました。

#### ② 米国市場

年初は新型コロナウイルス感染症の影響により企業収益が大きく減少し、設備投資も大幅に減少している状況下ではありましたが、年後半より徐々に経済活動の回復が進み、日系、米系自動車メーカーや農機具メーカーなどからの受注が好調に推移し、全体でもほぼ前年並みの売上高を計上いたしました。

#### ③ 中国市場

新型コロナウイルス感染症の影響により企業収益が大きく減少し、設備投資も大幅に減少しておりましたが、他地域に先んじて経済活動が回復しており、大型設備投資の回復は多少時間を要すると思われませんが、工具であるハンドナットランナの需要は早期に回復の兆しをみせ売上高は前年を上回る結果となりました。またネジ締付装置は前年比減収となり、その結果市場環境としては本格的な回復と言える状況には至っていない不安定要素もありつつ、全体ではほぼ前年並の売上高となりました。

#### ④ その他の市場

全地域において新型コロナウイルス感染症の影響により企業収益が大きく減少し、設備投資も大幅に減少している状況下ではありますが、地域によっては徐々に回復傾向を示しつつあり、タイやメキシコ等では前年比増収となりました。

その結果、当連結会計年度の売上状況は、上記の市場環境により全品種とも前年比減収となり売上高5,294百万円(前期比21.8%減)となりました。

利益状況は、従業員の新規増員抑制や経費削減等による固定費削減を実施しましたが、売上高が大幅に減少したことにより固定比率が上昇した結果、営業利益1,055百万円(前期比40.4%減)、売上高営業利益率19.9%(前期は26.2%)、経常利益1,072百万円(前期比38.8%減)、売上高経常利益率20.3%(前期は25.9%)、親会社株主に帰属する当期純利益729百万円(前期比38.9%減)となりました。

地域別売上においては、国内市場の回復が遅く、北米及び中国市場の回復が顕著であったことから海外売上比率が上昇し、海外売上高3,057百万円(前期比4.1%減)、国内売上高2,237百万円(前期比37.6%減)、売上全体に占める海外売上比率は57.7%(前期は47.1%)、国内売上比率は42.3%(前期は52.9%)となりました。

なお、当社製品は、ネジ締付装置、同部品及びネジ締付工具でありますので、単一セグメントとして市場環境を判断しております。

## (2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末の資産は、7,491百万円と前連結会計年度末比345百万円の増加となりました。増減の主な内訳は、現金及び預金666百万円が増加した一方、受取手形及び売掛金266百万円が減少したためであります。

当連結会計年度末の負債は、964百万円と前連結会計年度末比155百万円の減少となりました。減少の主な内訳は、買掛金66百万円、未払金96百万円であります。

当連結会計年度末の純資産は、6,526百万円と前連結会計年度末比501百万円の増加となりました。増減の主な内訳は、利益剰余金489百万円が増加したためであります。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は1,210百万円となり、前連結会計年度末に比べて706百万円の増加となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フロー別の状況は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における営業活動によるキャッシュ・フローは981百万円の収入(前連結会計年度は1,156百万円の収入)となりました。

これは主に、税金等調整前当期純利益1,072百万円、減価償却費147百万円、売上債権の減少額321百万円などの増加要因があった一方、たな卸資産の増加額100百万円、法人税等の支払額337百万円などの減少要因があったことによるものです。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における投資活動によるキャッシュ・フローは9百万円の支出(前連結会計年度は583百万円の支出)となりました。

これは主に、定期預金の払戻による収入60百万円などの増加要因があった一方、定期預金の預入による支出20百万円、有形固定資産の取得による支出25百万円、無形固定資産の取得による支出20百万円などの減少要因があったことによるものです。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における財務活動によるキャッシュ・フローは243百万円の支出(前連結会計年度は1,499百万円の支出)となりました。

これは主に、配当金の支払額240百万円などの減少要因があったことによるものです。

## (参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期
自己資本比率(%)	85.2	83.7	82.7	83.7	86.4
時価ベースの自己資本比率(%)	178.8	189.35	260.78	105.63	158.67
キャッシュ・フロー 対有利子負債比率(%)	—	—	—	—	—
インタレスト・カバレッジ・ レシオ(倍)	—	—	—	—	—

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額(自己株式を除く)／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

(注) 1 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式総数(自己株式控除後)により算出しています。

2 キャッシュ・フローは、連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。

3 「キャッシュ・フロー対有利子負債比率」、「インタレスト・カバレッジ・レシオ」について、有利子負債及び利払いが無い場合、「—」で表記しております。

#### (4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、国内市場では新型コロナウイルス感染症の終息が未だ見えない状況であり、このような状況下における通期予想は困難ではありますが、前年度のコロナ禍における経済状況の推移から推測し、今年度の自動車業界における経済活動は前年度に引き続き緩やかな回復傾向で推移するものと見込んでおり、ハンドナットランナやナットランナなど標準品の回復傾向から遅れを見せていた受注生産品であるネジ締付装置も、お客様の設備投資計画の再開と共に年度後半より緩やかに回復するものと見込んでおります。

米国市場ではコロナ禍による経済活動の減速から比較的早期に回復しており、日系、米系自動車メーカーや農機具メーカーなどの設備投資が前年度後半から堅調に推移しており、今年度も継続推移するものと見込んでおります。

中国市場も米国市場同様にコロナ禍からの回復が早期であったこともあり、大型案件が見込める状況回復までは見通せませんが、EV関係の設備投資など新規需要も少なからず増加傾向にあり、全体的には堅調に推移するものと見込んでおります。

品種別ではハンドナットランナ及びネジ締付装置の売上拡大を中心に前年を上回る売上高を見込んでおります。

一方利益面に関しては、中期経営計画の達成のため人的先行投資など将来の業績拡大の布石の為の支出増を想定しており、前年比増収を見込むものの対売上利益率は低下する見込みです。それらを踏まえ業績見通しにつきましては、売上高5,969百万円、営業利益1,085百万円、経常利益1,097百万円、親会社株主に帰属する当期純利益762百万円を見込んでおります。

なお、中期経営計画の詳細につきましては、本日(2021年4月28日)公表の「中期経営計画策定に関するお知らせ」をご覧ください。

#### (5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は株主に対する利益還元を経営の重要課題の一つとして認識しており、将来の事業展開と経営体質強化のため内部留保を確保しつつ、安定した配当を継続的に実施していくことを基本方針としております。

当期の配当につきましては、1株当たり57円00銭を予定しておりましたが、業績に鑑み株主の皆様の日頃のご支援にお応えすべく、1株当たり4円00銭増配の61円00銭にすることに決定いたしました。

詳細につきましては、本日(2021年4月28日)公表の「剰余金の配当に関するお知らせ」をご覧ください。

また、次期につきましては1株につき64円00銭の期末配当を予定しております。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、国内の同業他社との比較可能性を確保するため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月20日)	当連結会計年度 (2021年3月20日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	544,878	1,211,498
受取手形及び売掛金	1,775,158	1,509,134
電子記録債権	338,009	263,712
商品及び製品	443,131	490,622
仕掛品	332,438	253,697
原材料	1,107,068	1,233,105
未収消費税等	249	12,390
その他	88,811	87,879
貸倒引当金	△2,148	△1,782
流動資産合計	4,627,597	5,060,257
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,143,154	1,146,255
減価償却累計額	△289,273	△333,601
建物及び構築物(純額)	853,881	812,654
機械装置及び運搬具	26,603	30,497
減価償却累計額	△16,323	△18,873
機械装置及び運搬具(純額)	10,280	11,624
工具、器具及び備品	572,425	562,012
減価償却累計額	△399,194	△447,139
工具、器具及び備品(純額)	173,231	114,873
土地	830,106	830,106
リース資産	9,270	13,692
減価償却累計額	△2,987	△5,799
リース資産(純額)	6,283	7,892
有形固定資産合計	1,873,781	1,777,150
無形固定資産		
ソフトウェア	38,521	42,605
水道施設利用権	3,380	3,141
その他	880	880
無形固定資産合計	42,781	46,627
投資その他の資産		
投資有価証券	95,476	121,288
関係会社出資金	213,346	225,263
繰延税金資産	189,705	158,096
保険積立金	88,467	88,467
その他	15,475	15,099
貸倒引当金	△800	△800
投資その他の資産合計	601,672	607,415
固定資産合計	2,518,236	2,431,194
資産合計	7,145,833	7,491,451

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年3月20日)	当連結会計年度 (2021年3月20日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	191,026	124,915
未払金	150,807	54,567
未払費用	120,309	115,332
リース債務	1,854	2,826
未払法人税等	269,173	235,286
未払消費税等	38,312	27
賞与引当金	61,712	64,315
製品保証引当金	55,000	44,000
その他	8,639	65,700
流動負債合計	896,835	706,971
固定負債		
繰延税金負債	6,233	4,596
リース債務	4,532	5,596
退職給付に係る負債	210,636	247,480
その他	2,380	69
固定負債合計	223,781	257,742
負債合計	1,120,617	964,714
純資産の部		
株主資本		
資本金	557,000	557,000
資本剰余金	639,750	639,750
利益剰余金	6,226,446	6,715,646
自己株式	△1,461,410	△1,461,719
株主資本合計	5,961,785	6,450,676
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	21,236	36,427
為替換算調整勘定	△5,081	△17,773
その他の包括利益累計額合計	16,154	18,653
非支配株主持分	47,275	57,407
純資産合計	6,025,215	6,526,737
負債純資産合計	7,145,833	7,491,451

## (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

## 連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年3月21日 至 2020年3月20日)	当連結会計年度 (自 2020年3月21日 至 2021年3月20日)
売上高	6,773,705	5,294,631
売上原価	3,668,059	2,962,276
売上総利益	3,105,646	2,332,355
販売費及び一般管理費	1,333,469	1,276,645
営業利益	1,772,176	1,055,709
営業外収益		
受取利息	212	146
受取配当金	2,713	2,735
持分法による投資利益	4,574	5,348
受取保険金	1,500	—
雇用調整助成金	—	20,754
その他	1,347	2,363
営業外収益合計	10,348	31,349
営業外費用		
支払利息	701	3
為替差損	7,155	14,032
自己株式取得費用	19,327	—
その他	1,204	278
営業外費用合計	28,389	14,313
経常利益	1,754,134	1,072,744
税金等調整前当期純利益	1,754,134	1,072,744
法人税、住民税及び事業税	545,697	306,724
法人税等調整額	△1,737	23,662
法人税等合計	543,960	330,386
当期純利益	1,210,174	742,358
非支配株主に帰属する当期純利益	16,857	12,697
親会社株主に帰属する当期純利益	1,193,317	729,660

## 連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年3月21日 至 2020年3月20日)	当連結会計年度 (自 2020年3月21日 至 2021年3月20日)
当期純利益	1,210,174	742,358
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,557	15,191
為替換算調整勘定	1,846	△21,825
持分法適用会社に対する持分相当額	△6,432	6,567
その他の包括利益合計	△3,027	△66
包括利益	1,207,147	742,291
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	1,187,764	732,159
非支配株主に係る包括利益	19,382	10,131

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年3月21日 至 2020年3月20日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	557,000	639,750	5,266,965	△218,361	6,245,354
当期変動額					
剰余金の配当			△233,836		△233,836
親会社株主に帰属する 当期純利益			1,193,317		1,193,317
自己株式の取得				△1,243,049	△1,243,049
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	959,481	△1,243,049	△283,568
当期末残高	557,000	639,750	6,226,446	△1,461,410	5,961,785

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	19,678	2,029	21,707	27,892	6,294,954
当期変動額					
剰余金の配当					△233,836
親会社株主に帰属する 当期純利益					1,193,317
自己株式の取得					△1,243,049
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	1,557	△7,110	△5,552	19,382	13,829
当期変動額合計	1,557	△7,110	△5,552	19,382	△269,738
当期末残高	21,236	△5,081	16,154	47,275	6,025,215

当連結会計年度(自 2020年3月21日 至 2021年3月20日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	557,000	639,750	6,226,446	△1,461,410	5,961,785
当期変動額					
剰余金の配当			△240,461		△240,461
親会社株主に帰属する 当期純利益			729,660		729,660
自己株式の取得				△309	△309
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	489,199	△309	488,890
当期末残高	557,000	639,750	6,715,646	△1,461,719	6,450,676

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	21,236	△5,081	16,154	47,275	6,025,215
当期変動額					
剰余金の配当					△240,461
親会社株主に帰属する 当期純利益					729,660
自己株式の取得					△309
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	15,191	△12,692	2,499	10,131	12,631
当期変動額合計	15,191	△12,692	2,499	10,131	501,521
当期末残高	36,427	△17,773	18,653	57,407	6,526,737

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年3月21日 至 2020年3月20日)	当連結会計年度 (自 2020年3月21日 至 2021年3月20日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	1,754,134	1,072,744
減価償却費	127,964	147,984
貸倒引当金の増減額(△は減少)	28	△366
賞与引当金の増減額(△は減少)	7,833	2,603
製品保証引当金の増減額(△は減少)	△18,321	△11,000
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△255	36,833
受取利息及び受取配当金	△2,926	△2,882
支払利息	701	3
為替差損益(△は益)	139	43
持分法による投資損益(△は益)	△4,574	△5,348
受取保険金	△1,500	—
売上債権の増減額(△は増加)	△249,626	321,089
たな卸資産の増減額(△は増加)	191,194	△100,940
仕入債務の増減額(△は減少)	△49,542	△66,110
未払金の増減額(△は減少)	△31,314	△94,706
未収消費税等の増減額(△は増加)	21,187	△12,140
未払消費税等の増減額(△は減少)	38,350	△38,299
その他	17,670	66,530
小計	1,801,142	1,316,036
利息及び配当金の受取額	2,926	2,884
保険金の受取額	1,500	—
利息の支払額	△701	△3
法人税等の支払額	△648,800	△337,814
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,156,067	981,103
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△60,000	△20,000
定期預金の払戻による収入	71,000	60,000
有形固定資産の取得による支出	△562,531	△25,410
無形固定資産の取得による支出	△26,733	△20,387
投資有価証券の取得による支出	△4,930	△5,249
その他	△21	1,278
投資活動によるキャッシュ・フロー	△583,217	△9,770
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	600,000	—
短期借入金の返済による支出	△600,000	—
リース債務の返済による支出	△1,854	△2,826
自己株式の取得による支出	△1,263,923	△309
配当金の支払額	△233,752	△240,429
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,499,529	△243,565
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,002	△21,111
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△925,677	706,656
現金及び現金同等物の期首残高	1,429,767	504,090
現金及び現金同等物の期末残高	504,090	1,210,747

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症について)

新型コロナウイルス感染症の影響について、今後の拡大または収束を予測することは困難な状況ではありますが、当社グループへの影響は限定的であるとの仮定に基づき、当連結会計年度における会計上の見積りを行っております。

なお、新型コロナウイルス感染症の収束時期は不透明であるため、今後の状況の変化によっては、連結財務諸表の作成に影響を与える可能性があります。

(セグメント情報等)

当社グループは、ネジ締付装置、同部品及びネジ締付工具の製造・販売及び当社製品の修理・点検を主な事業とする単一セグメントで事業活動を展開しているため、セグメント情報の記載を省略しております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2019年3月21日 至 2020年3月20日)	当連結会計年度 (自 2020年3月21日 至 2021年3月20日)
1株当たり純資産額	2,411円45銭	2,609円75銭
1株当たり当期純利益金額	460円78銭	294円34銭

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2019年3月21日 至 2020年3月20日)	当連結会計年度 (自 2020年3月21日 至 2021年3月20日)
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	1,193,317	729,660
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(千円)	1,193,317	729,660
普通株式の期中平均株式数(株)	2,589,782	2,478,961

(重要な後発事象)

該当事項はありません。